

占いコンテンツを  
つくろう!

～WebAPIを利用して問題解決～

## 動画の内容

- ① サンプルプログラムを実行してみよう。
- ② サンプルプログラムを改良してみよう。
- ③ 占いコンテンツで問題解決しよう。
- ④ こんなこともできるよ。
- ⑤ 振り返ろう。



# 使うもの

- ① 使うもの: PC やタブレット1台
- ② 使うアプリ: Google Colaboratory



星座を入力するだけで、  
今日の運勢が知りたいなあ

仕事運？

ラッキーアイテム？

占いの内容？

ラッキーカラー？

恋愛運？

総合運？

金運？

ランキング？



# サンプルプログラム

```
import requests
import json
import datetime

date = datetime.datetime.today().strftime("%Y/%m/%d")

res = requests.get(url='http://api.jugemkey.jp/api/horoscope/free/'+ date)

horoscope_data = res.json()["horoscope"][date][2]

print("星座:", horoscope_data["sign"])
print("内容:", horoscope_data["content"])
```

# 仕組み

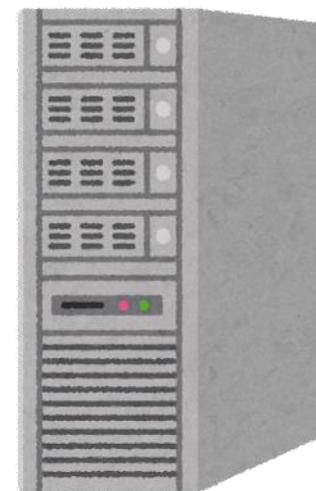
WebAPIとは、インターネット上で情報をリクエストし、それに応じた情報を受け取るためのシステムのこと。



PC (プログラム)

リクエスト

レスポンス



サーバ

# 占いの情報には以下のものがあり、 表示することができるよ

占いの内容 : content

金運(5段階評価) : money

仕事運(5段階評価) : job

恋愛運(5段階評価) : love

総合運(5段階評価) : total

ラッキーアイテム : item

ラッキーカラー : color

ランキング : rank

星座名 : sign

友達を占いで  
元気にしよう!





こんなこともできるよ。



操作性を向上させた占いコンテンツ

順次

処理A

処理B

処理C

```
import requests  
import json  
import datetime
```

```
date = datetime.datetime.today().strftime("%Y/%m/%d")
```

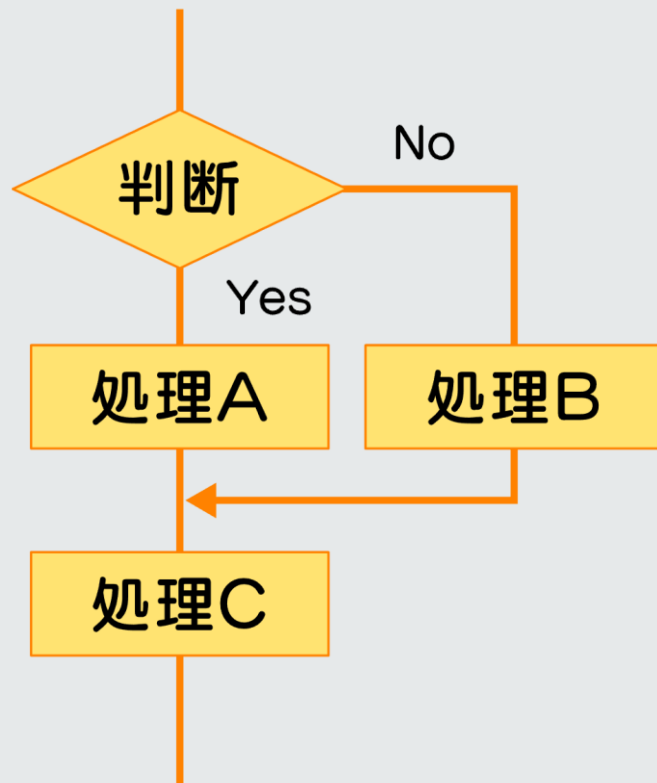
```
res = requests.get(url='http://api.jugemkey.jp/api/horoscope/free/'+ date)
```

```
horoscope_data = res.json()["horoscope"][date][2]
```

```
print("星座:", horoscope_data["sign"])
```

```
print("内容:", horoscope_data["content"])
```

## 条件分岐 (分岐)



```
import requests
import json
import datetime
from IPython.display import Image, display
```

```
date = datetime.datetime.today().strftime("%Y/%m/%d")
```

```
res = requests.get(url='http://api.jugemkey.jp/api/horoscope/free/'+
date)
```

```
horoscope_data = res.json()["horoscope"][date][11]
```

```
print("Aさんの星座は, ", horoscope_data["sign"], "です。")
print("今日のラッキーカラーは, ", horoscope_data["color"], "です。洋服や小物
にラッキーカラーを取り入れてみませんか? 絶対に似合いますよ!!")
```

```
if int(horoscope_data["total"]) >= 3:
```

```
    image_url =
'https://drive.google.com/uc?id=IGSvAmmlWF_TlLezjYhcty9ZPDWTFG
HMv&.jpg'
    display(Image(url=image_url))
```

## ふりかえり

- ① テキスト型の言語を使い、WebAPIを利用したプログラムを作成しました
- ② 画像などのメディアを利用してコンテンツを工夫することができました

さらにユーザーの入力に対応した応答をするなどの改良をしてみましょう